



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第400号

緊急事態宣言をうけて 信徒会長 上川 直子

国内でコロナウィルス感染者が初確認されて1年が経ちました。昨年の灰の水曜日以降、約3ヶ月間公開ミサが中止になった事を思い出します。そしてその間、緊急事態宣言が発令され、この頃はどうして良いのか解らず不安の毎日でした。少しずつ、政府からの感染予防のガイドラインも整い、それを基に水巻教会の信徒の皆さんにも守ってもらい、ミサ再開の運びとなりました。

しかし、年末からのコロナの勢いは収まる事はなく、今回2回目の緊急事態宣言となりました。前回とは明らかに違い、日に日に感染者も増え続けるばかりです。医療崩壊とも言われ、医療従事者の方の感染リスク、ご負担を考えると緊急事態宣言はやむを得ない事です。感染者を増やさない為にも、私達がうつらない、人にうつさない。感染予防を改めて認識し、早く減少傾向になるよう今は我慢の時、落ち着くまで待つ。今、私達に与えられた責任だと思います。

改めて皆さんにお伝えしておきます。緊急事態宣言の期日(2月7日)以降の予定も連絡網でお伝えします。これから先の

事は見通しがつきませんが、ミサが再開するまでは連絡網でお伝えする形となります。

これからの行事もどうなるか気になると思いますが必ず連絡しますので宜しくお願いします。

最後に今、私達が出来る事、不要不急の外出は避け、感染予防に心がけましょう。ミサで皆さんに会える日を今は待ちましょう。



星として闇を照らしましょう・・・2面
水巻教会の世界のなかま・・・3面
外国人から相談されて・・・4面
幼稚園から・・・5面
教会学校より・・・6面
400号を迎えました・・・7面
お知らせ・ホームレス支援へお願い・8面

「星として闇を照らしましょう」

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

先日、1月13日に福岡県でも緊急事態宣言が出されました。感染収束に向けて険しい道のりが続きますし、こうしている間にも生活することさえ難しい状況に置かれている方のことを思うと、本当に胸が苦しくなります。「私たちに何ができるのか」。常に問われていることですが、これほどまでに意識したことがあったのでしょうか。今回、主の公現の祭日に教皇フランシスコが送ったメッセージに背中を押されながら、キリストを信じる私たちがこれまで以上に“キリストと共にできることをしつづける証人”として日々を送る決意を新たにしようにいたします。

「今日、わたしたちは主のご公現の祭日を記念します。主の公現とは、すべての人々に主が現れたことをお祝いします。事実、キリストによって実現された救いに国境はありません。主の公現は、主の降誕と異なる別の神秘ではなく、同じ神秘です。ただ、主の公現では光の観点が強調されています。すべての人々を隈なく照らす光です。それはまた、信仰の中に捉えるべき光であり、愛徳と福音宣教において他の人々にももたらされるべき光です。今日の典礼で引用されたイザヤ預言者の言葉(イザヤ60・1-6 参照)は、この時代、特に現実味を帯びています。

「闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる」(同60・2)。このような状況の中で預言者は光を告げます。この光は、遠くの者も近くの者も、すべての人々を惹きつけます。そして、皆、この輝きに向かって歩み始めます(同60・3)。胸いっぱい新鮮な空気を吸うように、希望に心を開かせる情景です。もちろん、誰の人生にも、人類の歴史にも、常に闇と脅威は存在します。しかし、神の光は、いかなる闇よりも強いのです。問題は、すべての人々を照らすべくこの光を受け入れることです。では、この光はどこにあるのでしょうか。イザヤ預言者はこの光を遠くから垣間見ていました。しかし、それはエルサレムの人々の心を抑えがたい喜びであふれさせるのに十分でした。

福音記者マタイは、東方からの博士たちのエピソードを伝えながら、この光とはベトレヘムで誕生したあの幼子であると言っています(マタイ2・1-12 参照)。その幼子は王であるとすべての人が認めただけではありません。しかし、このイエスこそが世を照らす光でした。地上に現れた星であるイエスは、待ちに待たれた救い主です。神はイエスを通して、その愛と正義と平和の王国を実現されます。イエスは、ある人々のためではなく、すべての人、あらゆる民のために生まれました。この光は、どのように照らすのでしょうか。キリストの光は、いかにしてあらゆる場所と時代に広がるのでしょうか。それは、常に支配を手に入れようと

する、この世の権力者を通してではありません。福音を告げ知らせることを通してです。神がわたしたちの間においでになるために選ばれたものと同じ「方法」によってです。それは、ご託身、すなわち人々と同じようになることを通してでした。愛そのものである神の光は、このようにすべての人々を照らし、惹きつけるのです。星はキリストです。救い主がすべての人に無償でくださる無限のいつくしみと善意の宝の証人として、わたしたちも兄弟姉妹たちのために同じように星になることができ、また、ならなければなりません。」

水巻教会の世界のなかま となりひと

今回は Le Nhat ニャットさんを紹介します。

①youは何しに日本へ

2年前に、ベトナムのハノイの大学で土木建築を学び卒業、2019年12月、日本に来ました。日本では3Dソフトを使い建築用鉄骨の図面をCADで作成しています。

②働いている会社は水巻町に有り、住まいは八幡西区です。

③ベトナムには両親と姉、妹がいます。

④望みは、母国の両親が健康で幸せになる事です。それから祖国の為に何かしたい。日本は車が安いし何でも便利に暮らせる事が羨ましいよ。

★ニャットさんはメールによる質問に対して真面目に答えてくださいました。

★ミサの後、集会やパーティでニャットさんが弾かれるギターの伴奏で合唱を楽しむ姿がFacebookにアップされています。

★教会ではこれから外国人のリーダー的役割も期待されていますので、皆さんも気軽に声かけをして応援してあげましょう!

★Vol.1で紹介したクンさんが寒い日を送られていることで、暖房器の提供をお願いしましたが、或る方が申し出られて一緒にコタツを持って行きました! クンさんと同居中の方が寒さで震えていたのを見かねて、ご自分の上着を着せてあげられたことに心が温まりました。有難うございました。



広報記者 福嶋東三子

外国人から相談されて取り組んだ事案(1) 岩本 光弘

今回から私たちが受けた相談の内、一部の事例を書いてみます。長い間にはいろいろな相談を受けて動きましたが、公表できないことも沢山あります。報告できるいくつかの事例を書いてみます。皆さんがどのように受け止められるかは分かりませんが、日本に在留している外国籍の人たちの苦労を少しでも理解していただければと思います。

2008年、突然私たちの所に福岡から相談の電話がありました。福岡に住んでいる中国人女性からでした。自分の従妹が研修生として来日したが、仕事が余りにもきついで助けてほしいというものでした。会社の住所は大分県由布市でした。

相談したい人が数人いるということだったので、二台の車で数名が出かけました。

その時私は北九州に別の組織を作る話し合いがあったので行けませんでした。夕方に私の所へ「あまりにもひどいので6名保護して帰っています」と言う電話がありました。「連れてきてどこに収容するのか」と聞くと「今晚だけは門司に泊められるが明日からは難しい」と言うのです。急いで友人に相談したところ、ビルの一室に空きがあることが分かり、そこを借りることにしました。電気・水道の手配や布団の持ち込みなどをして彼女たちを受け入れました。ところがここも1週間程度と言うことで次の場所を探しました。幸いイエズス会の林神父や小倉の山元神父が手伝ってくれ一件の家を借りることができました。一週間後にそこへ移動して本人たちを落ち着かせてから事情聴取を始めました。この時に集めた資料を検討して会社と本格的に交渉することになりました。今回保護したのは縫製工場で働く6名で、彼女たちは中国山東省から来た人たちでした。彼女たちの労働状態はとても酷いものでした。仕事は朝8時から始まり昼休みを挟んで17時までですが、その後は毎日早くて20時まで遅いときは深夜2時まで残業がありました。

日曜日以外はすべての日が仕事でした。そのため一人の研修生が福岡の従妹に夜11時頃に公衆電話で実情を話しました。彼女は電話口で泣いていたそうです。彼女たちは保護した時、やせて顔色も悪くなっていました。そのため保護した翌日から二日くらい寝ていました。彼女たちは自分たちの労働日数と労働時間を記録していましたので、それを計算してみると多額の未払い賃金があることが分かりました。

私たちの会は様々な人が参加していますので、活動は分担して行います。早速会社と交渉を始めましたが、これは難航しました。莫大な未払い賃金を請求したわけですから、これによって倒産されると支払いが不可能になるわけです。そのあたりも考慮して時間をかけて交渉しました。最後は大分県労働委員会の調停を受け、無事に解決することができました。

一方で彼女たちの長期の保護期間で必要な様々な経費をある程度は補助するために各所で募金活動も行い、北九州の様々な団体や個人からカンパが寄せられました。

厄介だったのは、彼女たちが共産党国家から来ているために、会社と交渉をするということが理解できません。そのため私が毎週彼女たちの所へ出かけ、民主主義の国では話し合いによって問題を解決するのだという話を続けました。理解ができるようになるまで2か月かかりました。2月に保護をしてから彼女たちが帰国したのは7月でした。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 2月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

幼稚園では冬休みが明け、三学期が始まりました。今年は園庭にも雪が積もり、雪遊びをすることが出来ました。水溜まりが凍っていたり、滑り台の下に氷柱が出来たりしているのを発見して、大喜びの子どもたちでした。年長児にとっては園生活最後の学期です。毎日を健康に過ごし、実りある日々を過ごせるように祈っています。



【まめまき】

日時：2月3日(水)

水巻聖母幼稚園 TEL：093 201 9559
e-mail:coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

1月8～9日は、福岡も久しぶりの積雪でした。秋に植えたスナップエンドウが、すくすくと育ち、可愛い白い花を咲かせ、サヤをつけています。大きくなったね、食べごろかな、と寒い中、みんなで採りました。まだまだ、寒さに負けず、大きくなーれ!



長い間待って、やっと黄色くなった金柑もみんなで干切りをしました。苦酸っぱい甘い味がしました。秋冬の季節をいっぱい詰め込んだ味でしょうか。

TEL：050 5212 7759

HP：水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美
教職員 一同



教会学校のページ



2020年最後の主日ミサとなる12月27日、5名の女の子がアベイヤ司教様司式のもと、初聖体の秘跡を受けました。水巻教会は神様のこの上ない祝福と喜びに満たされました。アベイヤ司教様と初めてお会いするのが初聖体式とは、最高のお迎えが出来たように思います。子ども達は一段と緊張感が増したかもしれませんが、これも神様のご用意されたお恵みの一つに間違いありません。

式を終えた子ども達の感想をご紹介します。

イエス様のご聖体を初めて
いただけてうれしかったです。
勉強を教えてくださいました、神父様、
リーダーありがとうございました。

平田凌愛

初聖体の時に、言う
言葉をぜんぶおぼえ
るのが、むずかしか
かったです。

宮本絹佳

ずっと出来なかったからやっと出来てほっとした。
初聖体を受けられて良かった。みんなと同じよう
初聖体を受けられるようになって嬉しい(*^▽^*)

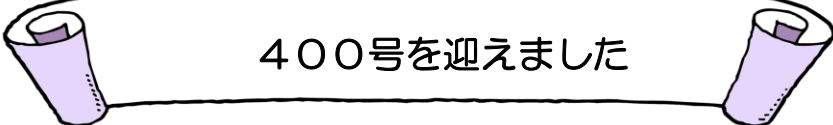
福田千尋

お兄ちゃんやお母さんが
食べていたので聖体をた
べるのがとても楽しみで
した。だからとてもたべ
られるようになってうれ
しいです。

樽角友祈

この度神父様を始め皆様に見守られながら、初聖体を受けられた事に感謝いたします。コロナ禍で勉強が出来なかった時期、お休みしていた時期もありましたが、こうして無事に受けられた事にとてもうれしく思います。これからも神様に喜ばれる良い子でありたいです。どうもありがとうございました。

梅宮 遥・梅宮陽子 (母)



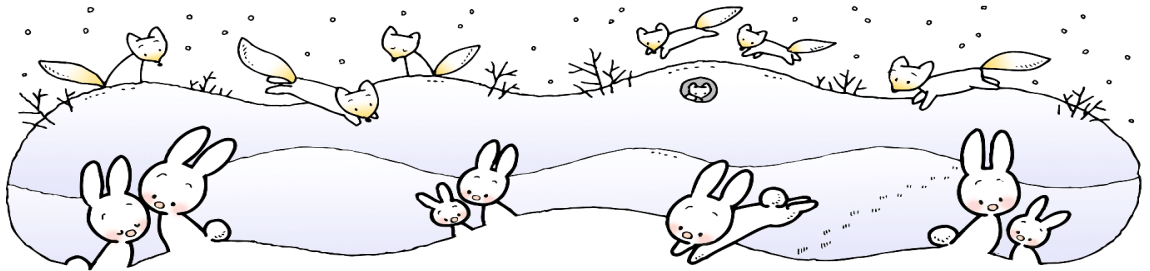
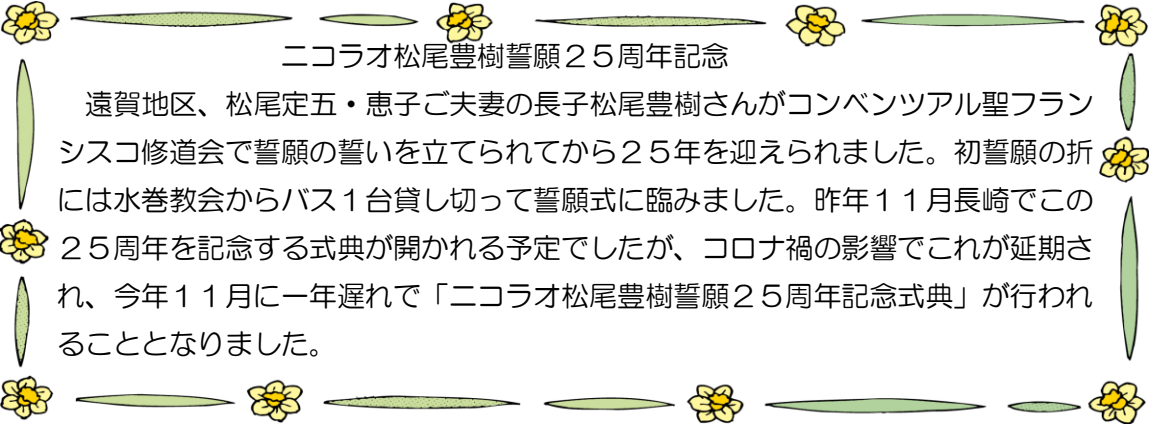
400号を迎えました

「からしだね」が今号で400号を迎えました。切りのいい数字なので、本来なら特別号で、司教様や水巻教会歴代の神父様、「からしだね」の編集関係者に祝いの言葉や今後への期待などを書いて頂き。現編集者への明日への糧としたかったのですが、現在の状況を考えて祝い事としてとらえるのはやめました。

コロナ禍という異常な事態を迎え、ここ一年で4回の「からしだね」発行休止を余儀なくされました。創刊以来、一号の欠号、発行の遅れもなかったことを誇りに感じていたものですが、事態の悪化には抗しきれませんでした。はからずも休止期間中2回の号外(特別号)を発行してこれを乗り切りました。しかし、未だコロナ禍のまっただ中、異常事態宣言が予定通り解除されるのか、さらに続くのかも未定です。

「からしだね」はこれまで紙を媒体として発行されてきました。配布はもっぱら人海作戦。しかし、進む高齢化の波で人手による配布は近い将来無理になってくることが予想されています。そこで、浮上してきたのがインターネットを通じての配信。将来的には、こちらが主流になるでしょうが次の目標500号、あるいは40周年までは紙媒体の「からしだね」が続くでしょう。

いずれにしても、「からしだね」は400号を迎え、新たな目標へ向け編集部一同頑張ります。

ニコラオ松尾豊樹誓願25周年記念

遠賀地区、松尾定五・恵子ご夫妻の長子松尾豊樹さんがコンベンツアル聖フランシスコ修道会で誓願の誓いを立てられてから25年を迎えられました。初誓願の折には水巻教会からバス1台貸し切って誓願式に臨みました。昨年11月長崎でこの25周年を記念する式典が開かれる予定でしたが、コロナ禍の影響でこれが延期され、今年11月に一年遅れで「ニコラオ松尾豊樹誓願25周年記念式典」が行われることとなりました。

ホームレス支援より お願い

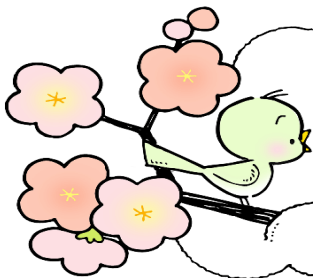
皆様にお願ひがあります。いつもホームレスの炊き出しの折、お弁当の上「励ましのお便り」をつけて配布しています。このお便りを書く人が足りず、間に合わない状況です。炊き出しの中心となっている『抱樸』の事務局より、この「励ましのお便り」をボランティアの方々に書いてほしいとの連絡がありました。本来はまとめて送るところですが、コロナ禍の中、それができません。

そこでお願いなのですが個人的に10冊ずつB5の半分の大きさに、「ボランティアより」の手紙を下記の宛先に直接送っていただけませんか？

〒805-0027 北九州市八幡東区鉄町7.11

抱樸館 華岡真琴宛 に

水巻教会 ○○○○（例えば「橋本富美」とかご自分の名前を書いてください。）



新成人のお祝い

1月1日の元日ミサの中で、新成人のお祝ひがあり、3名の新成人の方が参加してくれました。これからの彼らの活躍を皆さんでお祈りしましょう。

【編集後記】

○この号編集時点では緊急事態宣言が出されており、その期限の2月7日を待っています。一方で依然として高い罹患率が、7日で解除されるかどうか不安を感じさせています。次号の発行、今後の教会予定も立ちません。いまはただ、耐えるのみ。(山) ○この状況下ですが、コロナを正しく恐れて、予防に努めたいと思います。(吉) ○コロナ禍下だから出来る事がある。自粛中だから出来る事がある。この時だから出来る事がある。休むに時があり、思うに時がある(福) ○自粛期間中、皆さん不安に思うことも多いと思います。できるだけ密を避け、この時期だから出来る事を見つけましょう。(常) ○切り貼りをして作り上げていたからしだねも時の経過とともにデジタル化されつつあります。早く追いつかないと…(永)